MITSUBISHI

三菱 電気 温水器

時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力 8時間（通電制御型）

取扱説明書

システム形名チェック欄 □ に、お買い上げの温水器をチェックしてください。（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

高圧力型

形名

□ SRT-J37C3（エスアールテー ジェー シー）

□ SRT-J37CD3（エスアールテー ジェー シー デー）

□ SRT-J46C3

□ SRT-J46CD3

□ SRT-J46CDM3（エスアールテー ジェー シー デー エム）

□ SRT-J55C3

□ SRT-J55CD3

標準圧力型

形名

□ SRT-J37CH3（エスアールテー ジェー シー エイチ）

□ SRT-J46CH3

- ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。
- ●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- ●「保証書」「据付工事説明書」「据付工事確認書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。温水器を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。

最初にリモコンを確認ください

リモコンは、「インターホンタイプ」「ベーシックタイプ」の2タイプご用意しています。
ご使用の前に必ずリモコンのタイプを確認してください。

RMC-KD3-W/N/A（注）

RMC-BD3-W/N/A（注）

- インターホン機能付き
- 音声ガイダンス機能付き
（本書では「音声ガイダンス」と記載）
- スイッチ受付音あり
- 表示部バックライト機能付き

ベーシックタイプ

RMC-K3

RMC-B3

- インターホン機能なし
- 音声ガイダンス機能なし
- スイッチ受付音あり
- 表示部バックライト機能付き

注.リモコン形名末尾の英字はケースの色を表しています。（-W:パールホワイト／-N:シャンパンゴールド／-A:アクアブルー）

もくじ

ご使用の手順

①必ずお読みください。

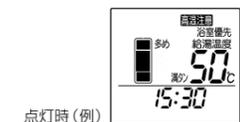
「安全のために必ずお守りください」P.4
「ご使用にあたってのお願い」P.6

※お使いになる際に、必ず守っていただきたいことが記載してあります。

②台所リモコンの表示を確認します。

表示が点灯している

▶そのままご使用できます。（③へ）

点灯時（例）

「満湯なし」の表示がでている場合
時間帯別電灯でご契約のお客さまは、満タンスイッチを押してください。約8時間でタンク全体のお湯をわかします。

表示が消灯している

または

タンクに水が入っていない方

▶タンクに水を入れるP.38に従ってください。

③お湯を使ってみましょう。

蛇口やシャワーを使う

- 蛇口やシャワーの温度を決める

おふろに入る

- 湯はりの温度と量を決める
- おふろにお湯を入れる

④お手入れをします。

- 日常のお手入れ P.32
時刻の確認・浴槽アダプターの掃除・注水洗浄など
- 1年に2〜3回のお手入れ P.32

早見表

操作	ボタン	ページ
おふろにお湯を入れる	ふろ自動	P.12
湯はりの温度を決める	温度	P.13
湯はりの量を決める	湯量	P.13
「蛇口・シャワー」の温度を決める	優先 ▶ 温度	P.14
熱いお湯をたす	あつく（3秒押し） 3秒押し	P.15
お湯をたす	たっぷり	P.17
ぬるくする	ぬるく	P.17
インターホンを使う（インターホンタイプのみ）	通話	P.18
呼び出す（ベーシックタイプのみ）	呼出	P.19
時刻を合わせる	時計合わせ ▶ 選択 3秒押し	P.20
わき上げモードを設定する	わき上げ設定	P.24

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中や機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止	(!)	指示に従う	⚠	感電注意	⚠	高温注意	⚠	発火注意

やけどを防ぐために!

⚠警告

やけど注意

給湯時は、湯水混合栓に手を触れない

使いはじめは、湯温を確認する

特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。
空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。

やけど注意

あつくスイッチを使用するときは、浴槽アダプターから離れる

入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する

 給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき（P7）をご覧ください。

安全に使用するために

⚠警告

やけど注意

浴槽にお湯がないときは、あつくスイッチを押さない
やけどをすることがあります。

分解禁止 前面カバーや工事用窓を開けない
改造しない

 近くにガス類や引火物を置かない
（ガスボンベからは2m以上離す。）

 異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口 P51」へ連絡する

⚠注意

浴槽アダプターをふさがない
配管が故障し、水漏れすることがあります。

そのまま飲用しない
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。

通電はタンクを満水にしてから行う
ヒーターが過熱して故障の原因になります。

 温水器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない
（事故・やけどの原因になります。）

点検・お手入れに関する注意

⚠警告

- 漏電遮断器（2カ所）の動作を確認する P32
- 逃し弁の点検をする（タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。） P32
  ●点検時は内部の配管に手を触れない　●点検終了後、操作窓は閉じる
- アース工事 **アース工事を確認する**
  （故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取付けは、据付工事店（販売店）へお問い合わせください。）

⚠注意

- 凍結防止対策の確認をする P34
  （タンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。）
- 床面が防水・排水処理されているか据付工事店（販売店）へ確認する
  （水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。）
- 操作カバー・操作窓は閉じる
  （雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。）

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

 長期間使用しないときは、本書の手順に従って、温水器内の水を確実に抜く P36
●排水時はお湯に手を触れない　●タンクの熱湯を直接排水しない

 初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順に従う P38

ご使用にあたってのお願い

お湯を上手に使う

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら

流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。

「高温さし湯」についてのお願い

高温さし湯を行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯が出ます。お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。

安全のため、あつくスイッチは3秒以上押さないとお湯が出ません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。

時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

入浴剤を使うときのお願い

〈避けて頂きたい入浴剤〉

金属腐食の原因になります。

- 硫黄成分が含まれるもの
- 炭酸カルシウムを含むもの（濁り湯状にさせるもの）

夜間時間帯のご使用について

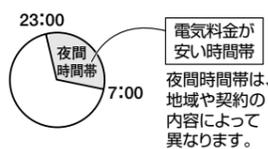
この温水器は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、**この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。**

（時間帯別電灯契約の場合）

リモコンに水をかけない

- 台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。（故障の原因）
- 浴室リモコンは防水タイプですが、なるべく水をかけないでください。（故障の原因）

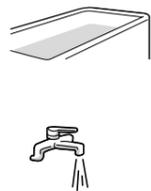
浴槽等の点検

- 浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

必ず水道水をご使用ください

- **必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。**
- **特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。）**

お湯の温度が低い

- 浴槽内の温度は、配管や浴槽の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。

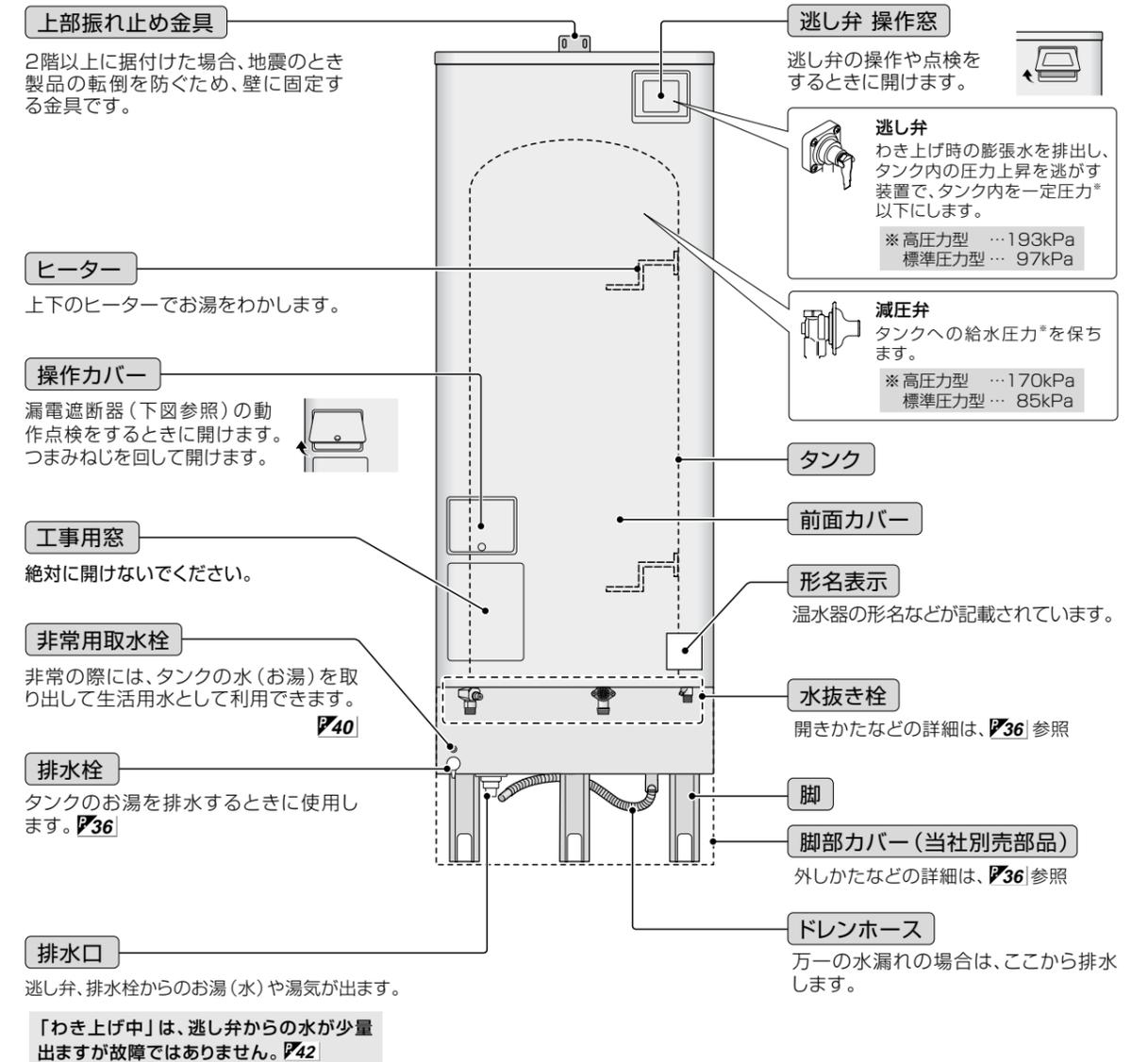
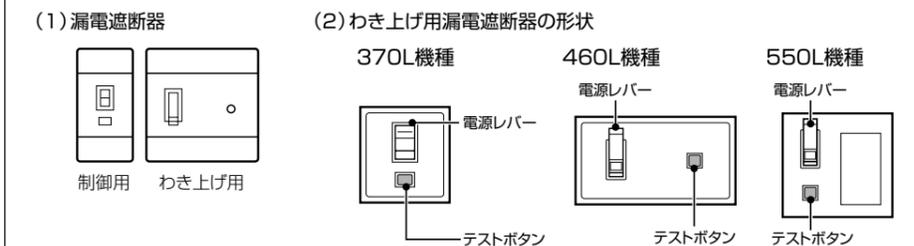
- 蛇口で使用するお湯は、配管の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

各部のはたらき

温水器本体

機種によって部品の取付位置や形状が異なります。

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

リモコンのはたらき（インターホンタイプ）

台所リモコン

ふたを開けた状態です。

〈スマート機能〉（台所リモコン）

- タンク内温度表示 P28
- わき上げ状態表示 P28
- 昼夜間電力使用量表示 P29
- お湯の使用量表示 P29
- 電力契約モード確認 P39

表示部 （説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

浴室リモコン

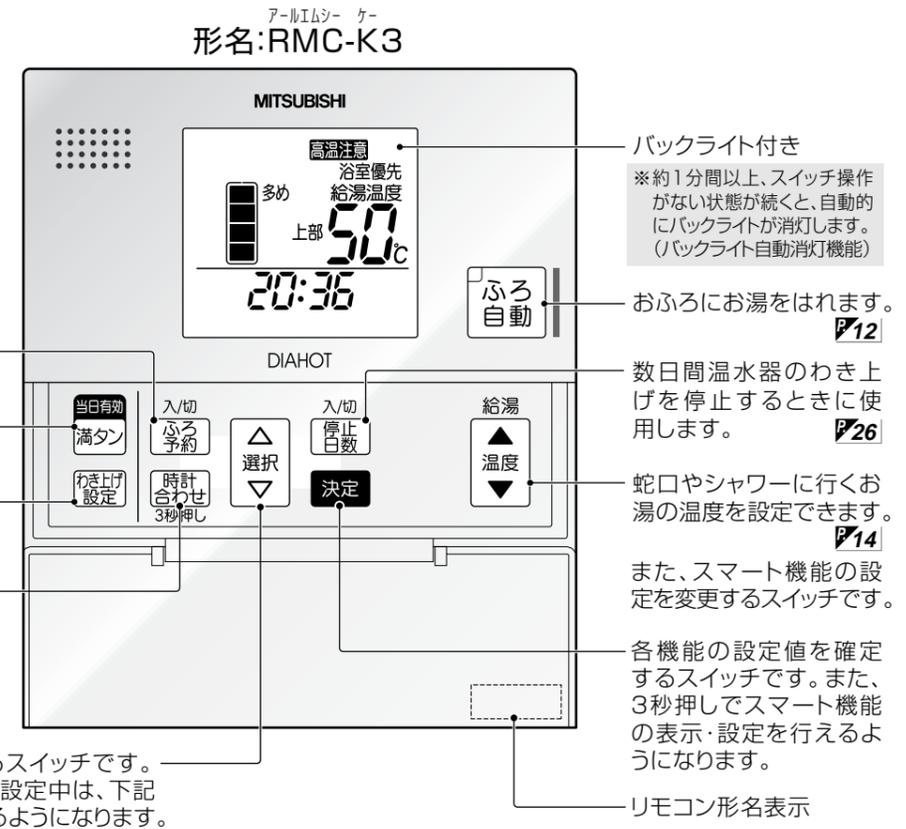
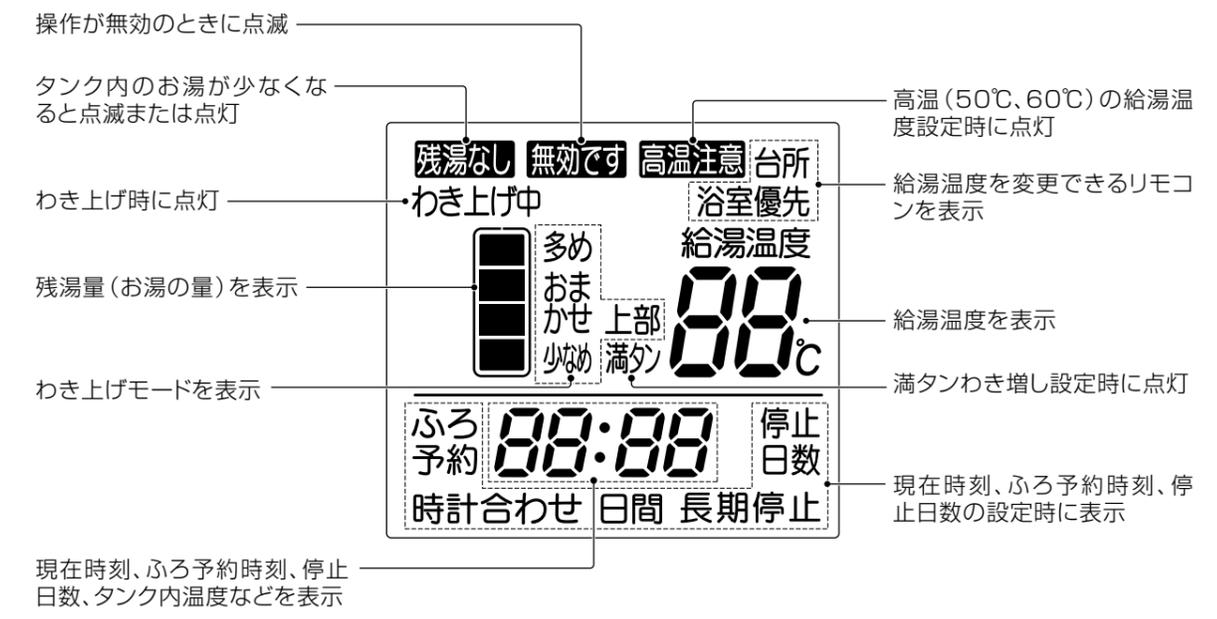
〈スマート機能〉（浴室リモコン）

- 高温さし湯量 P16

表示部 （説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

リモコンのはたらき（ベーシックタイプ）

台所リモコン

ふたを開けた状態です。

〈スマート機能〉（台所リモコン）

- タンク内温度表示 P28
- わき上げ状態表示 P28
- 昼夜間電力使用量表示 P29
- お湯の使用量表示 P29
- 電力契約モード確認 P39

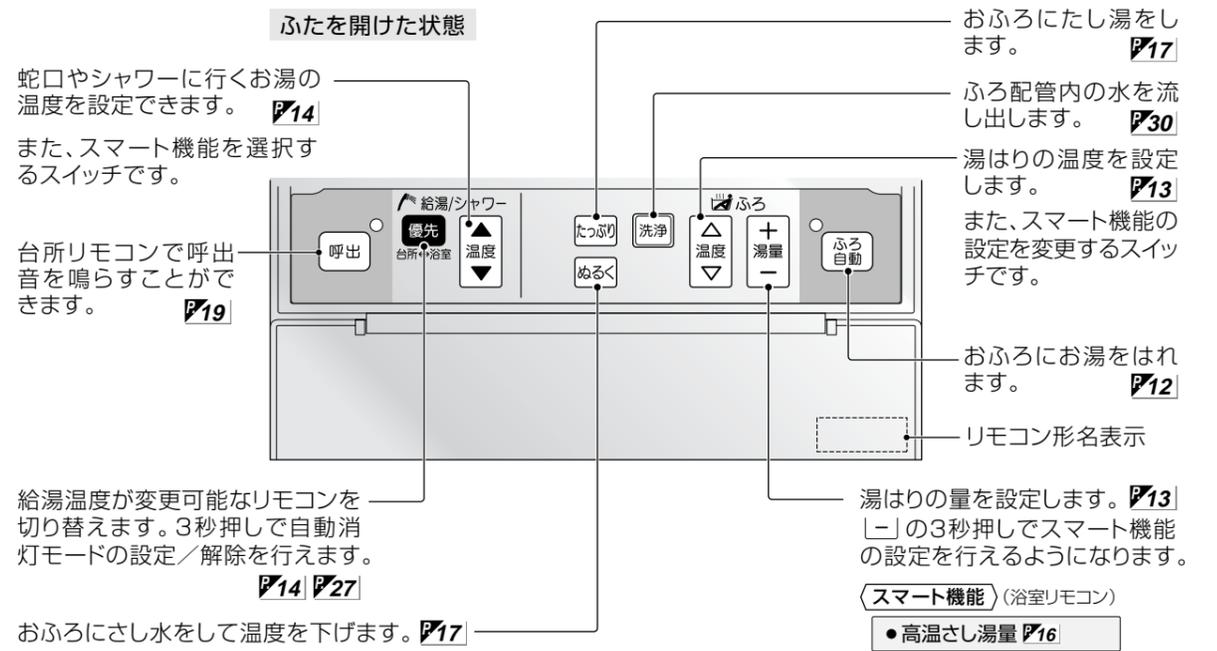
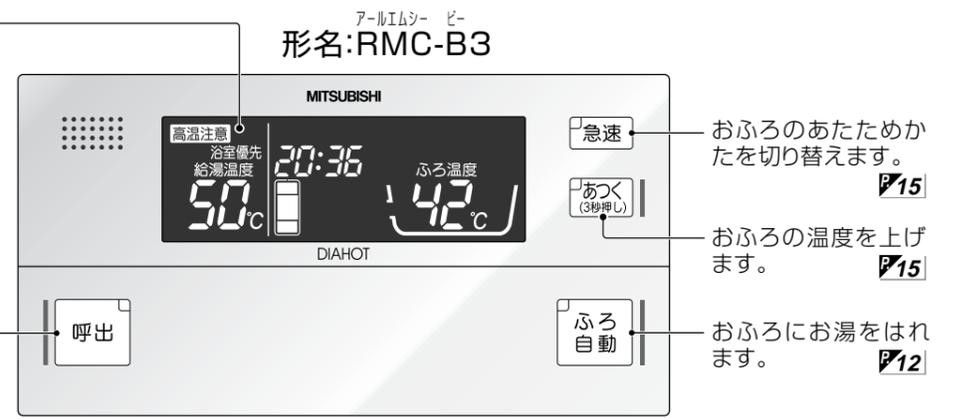
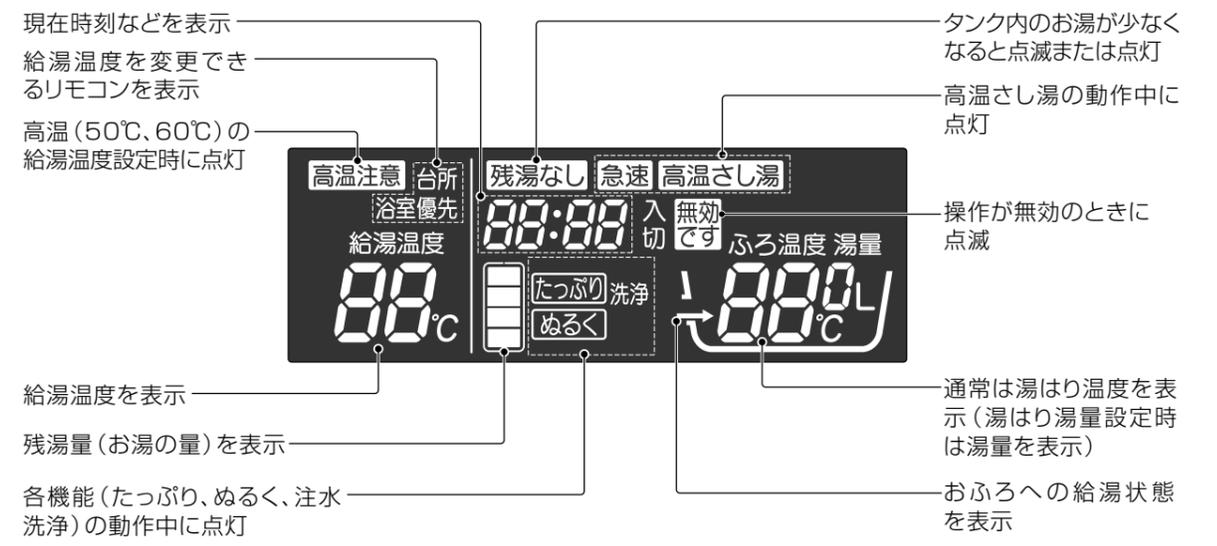
表示部
（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

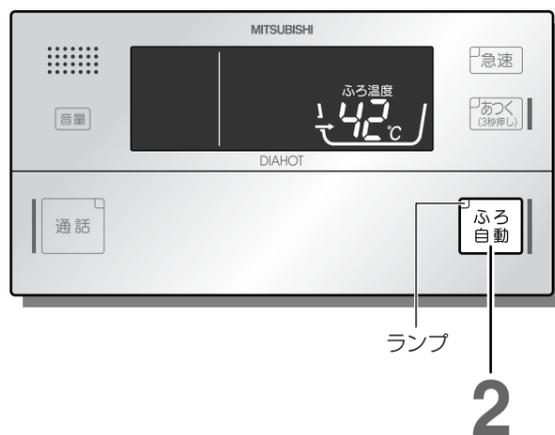
浴室リモコン

〈スマート機能〉（浴室リモコン）

- 高温さし湯量 P16

表示部
（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

おふろにお湯を入れる

この温水器は、おふろにワンタッチの自動運転（ふろ自動運転）でお湯を入れて使います。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1 おふろに水がないことを確認し、おふろの栓、ふたをする

- 湯はり温度の設定方法 P13
- 湯はり量の設定方法 P13

2 ［ふろ自動］を押す

▶湯はりが始まります。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 湯はり中は、ふろ自動ランプが点滅します。
- 途中でやめるときは、もう一度、ふろ自動スイッチを押します。
- 浴室リモコンは、ふたを開けたままスイッチを押すこともできます。
- ［ ］:点灯、［ ］:点滅

3 湯はりが終わると 音声完了音でお知らせします

（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- ふろ自動ランプが消灯にかわります。

☐ 入浴後は、ふろ自動ランプが消灯していることを確認し、
お湯を排水して、注水洗浄（P30）を行う

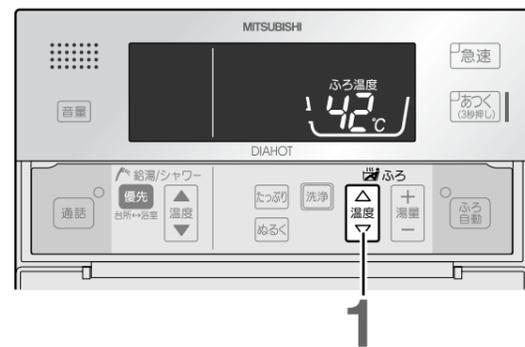
ポイント
- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合は、湯はりできません。
- 湯はり中に蛇口からおふろにお湯（水）を入れないでください。
- 湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと湯はりの時間が長くなります。
- 湯はり時間は、配管施工上の条件や水源水圧、蛇口などの使用状況により、多少変わることがあります。
- 浴槽に残り湯があるときに「ふろ自動スイッチ」を押すと、残り湯の量によっては、湯があふれますので残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。

湯はりの温度を決める

最初の数回は、お好みに合わせて設定してください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

●設定できる範囲

温度	35℃～48℃（1℃刻み） 工場出荷時は42℃

※温度は目安です。

1 ふろ温度スイッチを押して温度を設定する

▶［△］を押すと1℃上がります。
［▽］を押すと1℃下がります。

▶設定完了です。（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

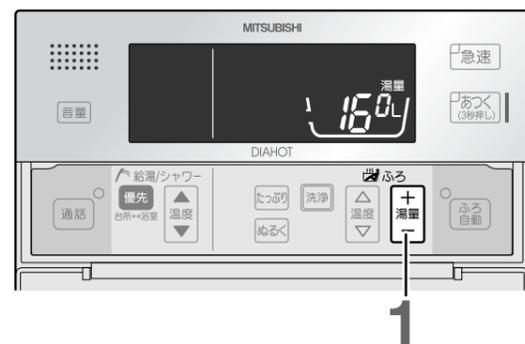
例）42℃

- 湯はりの「温度」は目安温度です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。湯はり後の浴槽内温度が低い場合は、次回から湯はりの温度を上げて湯はりをしてください。

ポイント
- 湯はり中でも、湯はり温度を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの温度が設定と異なる場合があります。

湯はりの量を決める

最初の数回は、お好みに合わせて設定してください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

●設定できる範囲

量	100L～400L（20L刻み） 工場出荷時は180L

※量は目安です。

1 ふろ湯量スイッチを押す

▶ふろ温度が消灯し、ふろ湯量の現在の設定値が表示されます。

例）180L

2 ふろ湯量スイッチを押して湯量を設定する

▶［＋］を押すと20L上がります。
［－］を押すと20L下がります。

▶設定完了です。（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）160L

ポイント
- 湯はりの量を設定するときは、最初は浴槽に対して少なめに設定してください。ただし、浴槽アダプターが水中にかくれるように設定してください。
- 湯はり中でも、湯はり湯量を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの湯量が設定と異なる場合があります。

「蛇口・シャワー」の温度を決める

給湯温度(蛇口・シャワーへ行くお湯の温度)は、「優先権※」のないリモコンでは設定できません。

※浴室リモコンか台所リモコンのどちらか一方で給湯温度変更をできるようにすることを、そのリモコンに「優先権」を与えると呼んでいます。
例えば、浴室でシャワーを浴びているときに台所リモコンで蛇口のお湯を熱くすると、熱いお湯が出る可能性があります。この場合は、台所リモコンでの温度変更を禁止させるため、浴室リモコンに「優先権」を与えてください。

浴室リモコン(インターホンタイプで説明しています。)

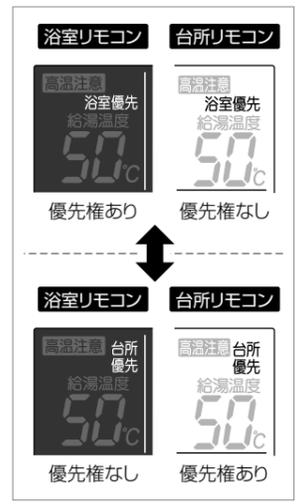
台所リモコン(インターホンタイプで説明しています。)

●設定できる範囲

35℃〜48℃(1℃刻み)/50℃/60℃
工場出荷時は50℃

※温度は目安です。

1 浴室リモコンの 優先 を押す

▶押すごとに、優先権が移ります。
インターホンタイプは、優先権をもったリモコンが音声でお知らせします。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

- 工場出荷時は浴室リモコンに優先権があります。
- リモコンに「優先権」がなくなったときは警告音が鳴ります。インターホンタイプは、優先権をもったリモコンが音声でお知らせします。給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。
- 優先権を台所リモコンから浴室リモコンに変更した場合、給湯温度は、以前に浴室リモコンで設定された温度となります。
  一方、優先権を浴室リモコンから台所リモコンに変更した場合、給湯温度は変わりません。

2 優先権のあるリモコンの給湯温度設定スイッチを押して 給湯温度を設定する

▶ ▲ を押すと温度が上がります。
▼ を押すと温度が下がります。

▶設定完了です。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

- 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。
  60℃に設定した場合は各リモコンから警告音が鳴ります。(インターホンタイプは、音声ガイダンスも流れます。)

ポイント
- タンク内の温度が低いとき(特にわき上げモードが「少なめ」の場合など)は、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
- 蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなることがあります。
- 給湯中に湯はり、たっぷり、ぬるく、高温さし湯をすると給湯温度が多少変動することがあります。
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

熱いお湯をたす(高温さし湯)

湯はりをするときに設定した温度を、約2℃上げるために必要な熱いお湯が入ります。
(最大で約60L、自動で停止)

浴室リモコン(インターホンタイプで説明しています。)

⚠警告
- 高温さし湯をするときは、浴槽アダプターから離れる
- 浴槽にお湯がないときは、あつくスイッチを押さない

(やけどの原因)

1 あつく(3秒押し) を3秒以上押す

▶高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから熱いお湯(約60℃)が出ます。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

高温さし湯温度

- 動作中は、あつくランプが点灯します。
- 途中でやめるときは、もう一度、あつくスイッチを押します。(あつくランプ、表示部の「高温さし湯」「→」が消灯します。)
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2 高温さし湯中に 急速 を押す

▶急速高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから熱いお湯(約80℃)が出ます。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

高温さし湯温度

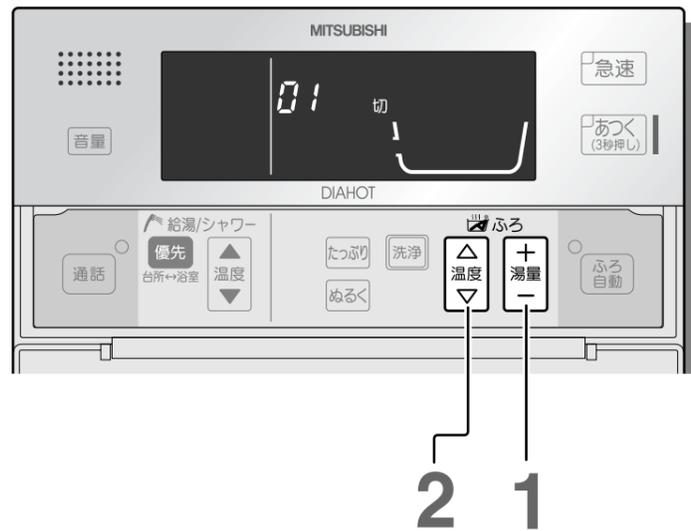
- 動作中は、急速ランプが点灯します。
- もう一度、急速スイッチを押すと、通常の高温さし湯に戻ります。(急速ランプ、表示部の「急速」が消灯します。)

ポイント
- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合や浴槽の残り湯が浴槽アダプターより少ない場合は、高温さし湯は使用できません。
- タンク内の温度が低いとき(特に、わき上げモードが「少なめ」の場合など)や配管などの条件によっては、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
- 高温さし湯の湯量をいつでも多めに固定したい場合は、P16 の手順で「50Lに固定する(たっぷり高温さし湯)」ことができます。
- シャワー等を使用しているときに高温さし湯を行うと、高温さし湯の温度が設定より低い温度になることがあります。

〈スマート機能〈機能番号:01〉〉

高温さし湯の量を切り替える

「高温さし湯量」は以下のように設定を変更できます。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

●設定できる範囲

入：約50Lのお湯が出ます。 切：浴槽温度を約2℃上げるためのお湯が出ます。
工場出荷時は「切」

2 1

1 湯量− を3秒以上押す

▶機能番号（01）と現在の設定が表示されます。
（音声ガイダンス：インターホンタイプのみ）

2 ふろ温度スイッチを押してモードを決める

▶△を押すと入になります。
▽を押すと切になります。

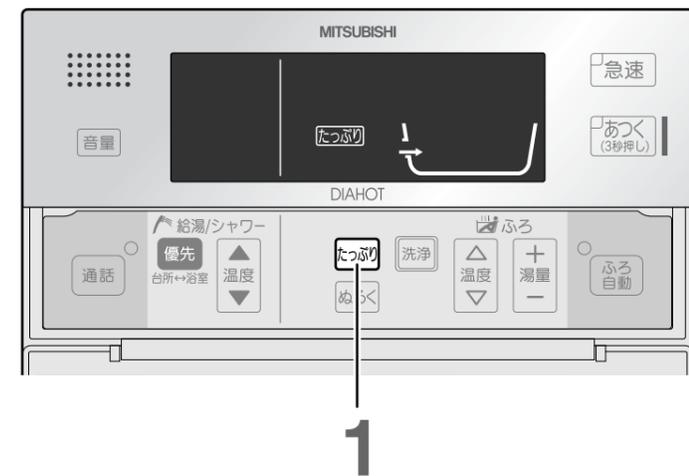
▶設定完了です。
（音声ガイダンス：インターホンタイプのみ）

●通常表示（時刻表示）へ戻すときは、−スイッチを押します。
−スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

お湯をたす

湯はりをするときに設定した温度のお湯（約20L）が浴槽に入ります。（自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1

1 たっぷり を押す

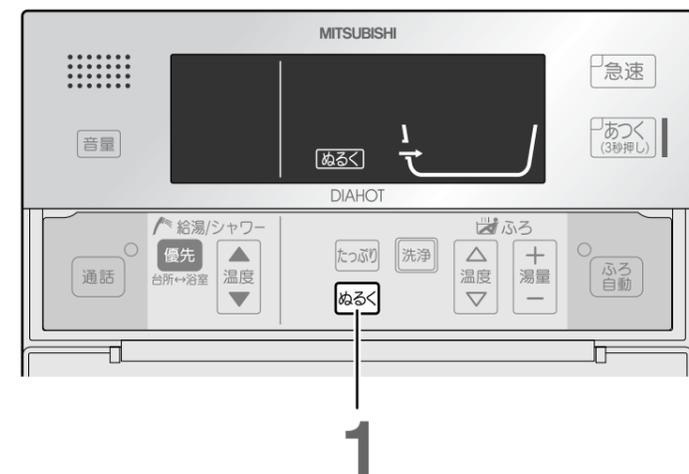
▶浴槽アダプターからお湯が出ます。
（音声ガイダンス：インターホンタイプのみ）

- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合、たっぷりは使用できません。
- 途中でやめるときは、もう一度、たっぷりスイッチを押します。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

ぬるくする

湯はりをするときに設定したおふろの温度を約1℃下げるために必要な水が浴槽に入ります。（最大で約20L、自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1

1 ぬるく を押す

▶浴槽アダプターから水が出ます。
（音声ガイダンス：インターホンタイプのみ）

- 途中でやめるときは、もう一度、ぬるくスイッチを押します。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

インターホンタイプ

インターホンを使う

浴室リモコンと台所リモコンの間でインターホンとして会話ができます。
相手側はスイッチを押さなくても会話できます。

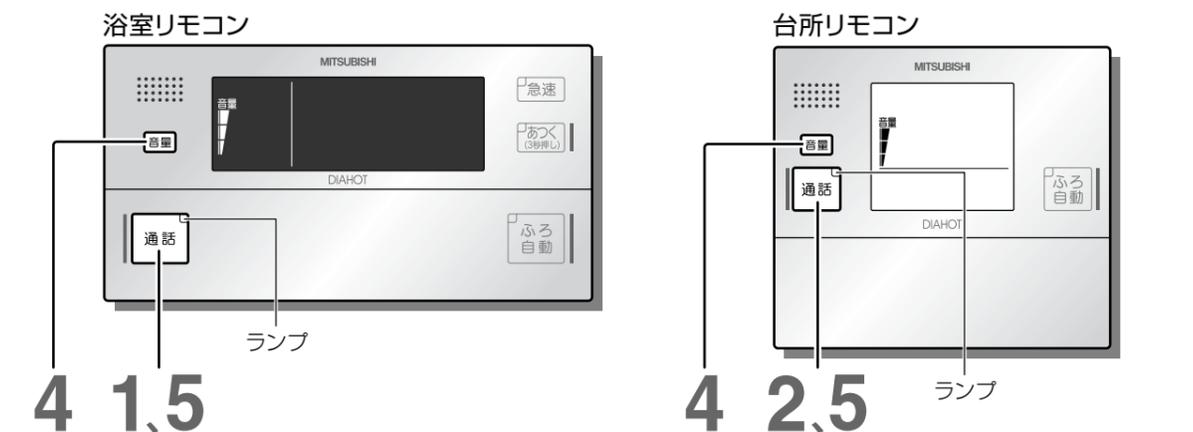
例）浴室から呼び出す場合（台所からも呼び出せます。）

浴室リモコン

4 1、5

台所リモコン

MITSUBISHI
音量
通話
ふろ自動
DIAHOT
ランプ

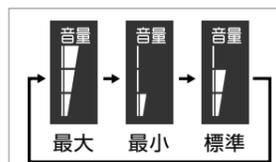
4 2、5

1 浴室リモコンの 通話 を押す

- 通話ランプが点滅します。
- 浴室リモコンは、浴室リモコンのふたを開けたまま、通話することもできます。

2 台所リモコンの呼出音が鳴り、ランプが点灯します。

- 浴室リモコンの呼出音も鳴ります。

3 音量ゲージが表示されたら、そのまま通話できます。

4 通話音量を変えるときは、通話中に 音量 を押す

押すごとに、音量がかわります。

- 通話中に行なってください。通話中以外に音量スイッチを押すと、音声ガイダンスの音量の変更となります。
- 通話音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に設定できます。
- 工場出荷時は「最大」に設定されています。

5 通話をやめるときはどちらかの 通話 を押す

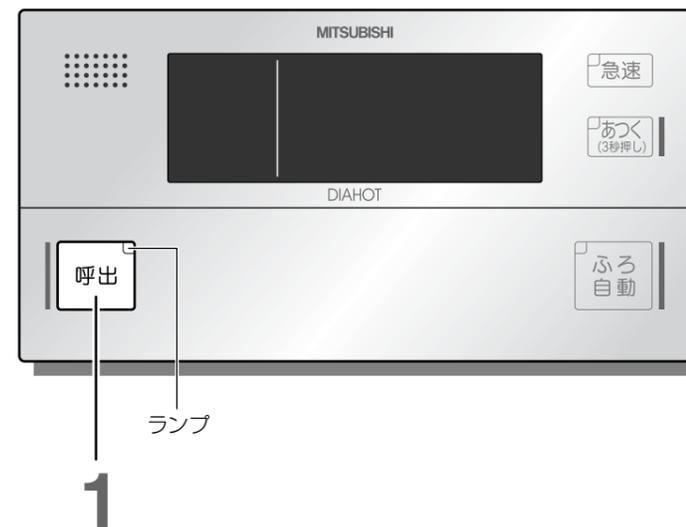
- 通話ランプが消灯します。音量ゲージも消灯します。
- 通話スイッチを押さなくても約60秒で自動的に終了します。

- 通話するときは、リモコンに向かって約30cm程度の距離で話してください。（近すぎると相手側で聞き取りにくくなります。）
- 周囲の環境（ペットの鳴き声やテレビなどの雑音の大きい場所）や会話の仕方（声が小さいなど）によっては、通話が途切れる場合があります。テレビはボリュームを下げるか消音にして通話を行なってください。
- 一度に両方のリモコンで話すとうまく会話ができません。交互に会話してください。
- 通話中は、スイッチを押してもブザー音や音声ガイダンスは出ません。
- 通話スイッチを連続して押すと雑音が発生することがあります。
- 通話中にハウリング（スピーカーから「ピー」という音が出る）が起きた場合は、通話音量を下げてください。
- サブリモコン（オプション）には、インターホン機能はありません。（呼び出しもできません。）

ベーシックタイプ

呼び出しをする

呼出スイッチを押すと、台所リモコンで呼出音が約10秒間鳴ります。

浴室リモコン

1 呼出 を押す

▶呼出ランプが点灯します。

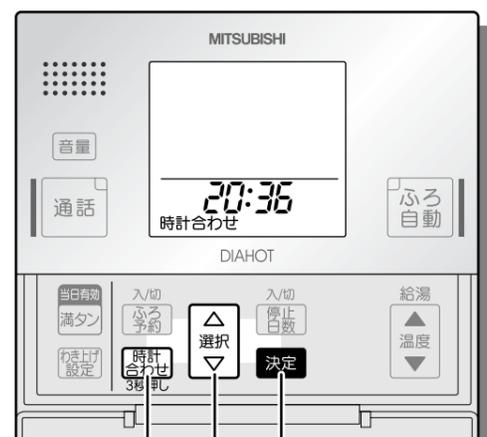
- ふたを開けたまま、呼び出すこともできます。

ポイント

- 途中で取り消しはできません。
- 呼出音量の調節はできません。

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。
台所リモコンで設定します。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1 時計合わせ を3秒以上押す

▶「時計合わせ」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）午後8時35分

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- ［ ］:点灯、［ ］:点滅

2 選択スイッチを押して時刻を合わせる

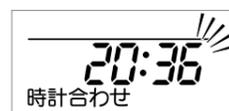
▶ △ を押すと1分間進みます。
▽ を押すと1分間戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

例）午後8時36分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 決定 または 時計合わせ を押す

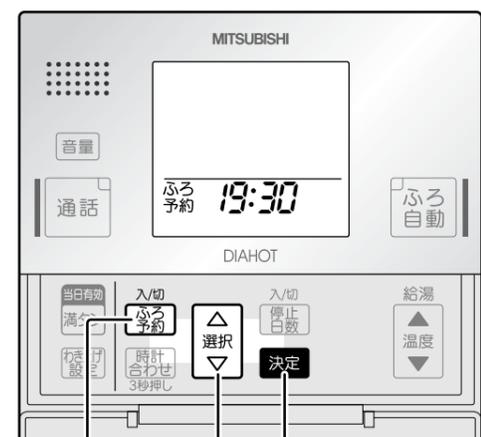
▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

20:36
時計合わせ

- 浴室リモコンには、自動的に設定した時刻が表示されます。

- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。
- サブリモコンをご使用の場合、サブリモコンでは時刻を設定できません。台所リモコンで設定した時刻がサブリモコンに表示されます。

予約した時間におふろにお湯を入れる

台所リモコンで予約します。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

ポイント
- 予約時刻の1時間以上前（湯はり時間を考慮）に設定を行なってください。1時間以内に設定した場合は、予約時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 水源水圧の変動などにより、湯はり完了時間が設定した時間よりずれることがあります。
- 浴室リモコンでは設定できません。
- 湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 現在時刻が合っていないと、予約時刻に湯はりは完了しません。
- 湯はりが完了すると自動的に解除されますので、使用するごとに予約をしてください。

1 浴槽を確認する

①残った水を排水して、おふろの栓を閉じる
②浴槽にふたをする

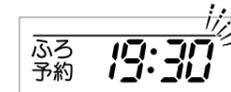
- **浴槽に残水があると、お湯があふれる場合があります。必ず、浴槽を確認してください。**
- ［ ］:点灯、［ ］:点滅

2 入/切 ふろ予約 を押す

▶「ふろ予約」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

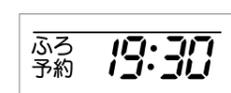
- 時刻は24時間表示です。
- 工場出荷時は、18:00に設定されています。
- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。

3 時刻が点滅中に選択スイッチを押して予約時刻を設定する

▶ △ を押すと10分間進みます。
▽ を押すと10分間戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

例）午後7時30分

- ふろ自動予約時刻の設定は10分刻みです。

4 決定 または 入/切 ふろ予約 を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 解除するときは、もう一度、ふろ予約スイッチを押します。「ふろ予約」表示が消え、現在時刻表示になります。

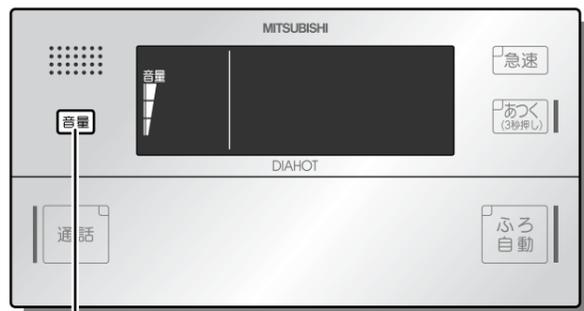
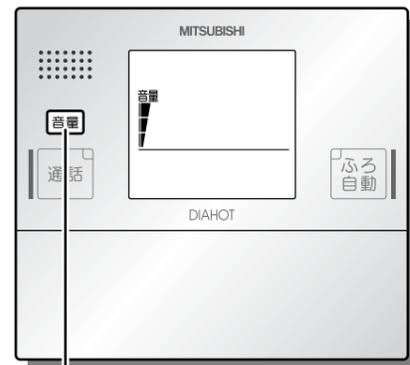
5 予約した時刻になると湯はりが完了し、表示が現在時刻に変わります。

（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

インターホンタイプ

音声ガイダンスの音量を調節する

台所、浴室リモコンの音声ガイダンス（操作を音声でガイドする機能）の音量を変えたり、切ることができます。音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に調節できます。

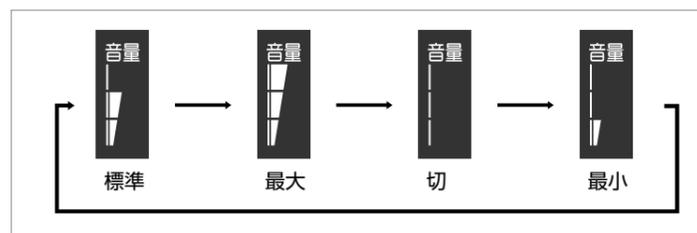
浴室リモコン

台所リモコン

1、2　　1、2

1 音量 を押す

▶現在設定されている声の大きさをお知らせします。
（音声ガイダンス）

- 通話をしていないときに行なってください。通話中に音量スイッチを押すと、通話音量の変更となります。
- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

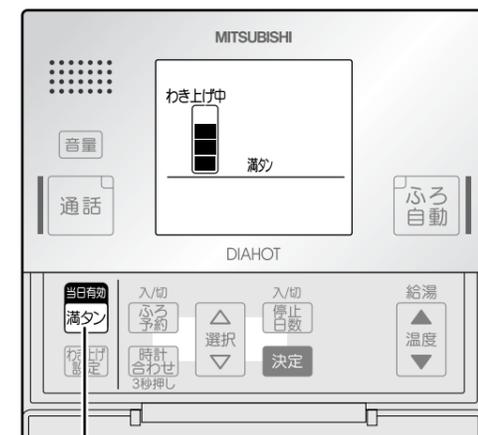
2 音量確認（手順1）後、10秒以内に 音量 を押す

▶押すごとに、声の大きさをお知らせします。

- 切（「音声を切ります」）にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

たくさんお湯を使う（満タンわき増し）

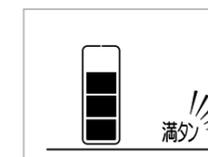
お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどヒーターに通電し、お湯をわき上げる機能です。来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

「時間帯別電灯」でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1

1 当日有効 満タン を押す

▶「満タン」が表示されます。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 解除するときは、もう一度、満タンスイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
- ［ ］:点灯

2 お湯が約100L減るとわき増しを開始します。

▶わき増し中は、「わき上げ中」が表示されます。

ポイント

- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[注]になると自動的に解除されます。

注.夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。

- 夜間時間帯[注]は、お湯が減ってもわき増しを行いません。
- 満タンわき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げますので電気料金は割高になります。
- わき上げモードで上部わき増しが設定されている場合でも、満タンわき増しを設定できます。

わき上げモードを設定する

温水器のわき上げ動作を決めるためのモードです。

お湯がたりなくなるのを防ぐため、使い始めは、「多め＋上部わき増し」に設定することをおすすめします。

来客などでさらにたくさんのお湯が必要なときは、満タンわき増しをご利用ください。

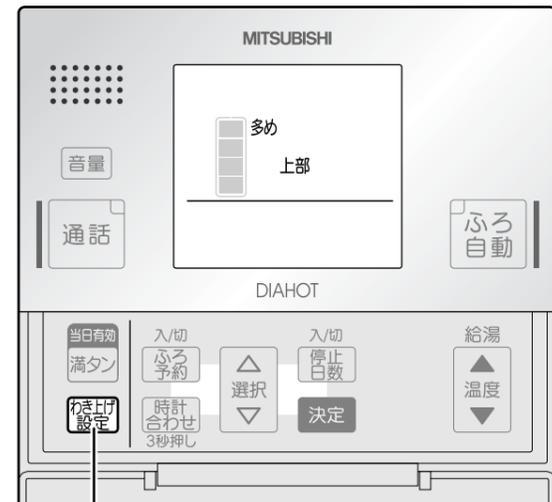
わき上げ温度の目安、動作内容

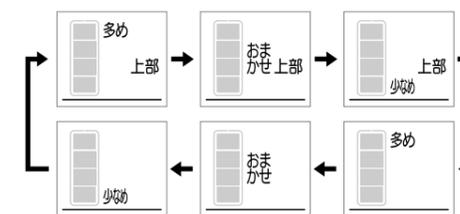
モード	画面表示	わき上げ温度（目安）	わき上げ動作内容
多め＋上部わき増し	多め 上部	約90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。 ●お湯が減ってきたら上部ヒーターに通電し、150Lのお湯を確保します。（上部わき増し）
おまかせ＋上部わき増し	おまかせ 上部	〈冬期〉約80〜90℃ 〈春〜秋〉約75〜90℃	●過去の使用湯量と現在の給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約75℃〜約90℃の範囲でわき上げ温度を決定し、ムダなく効率的にわき上げます。 ●お湯が減ってきたら上部ヒーターに通電し、150Lのお湯を確保します。（上部わき増し）
少なめ＋上部わき増し	上部 少なめ	約75℃	●最小限のわき上げを行います。使用量が多いとお湯が不足しますので「多め」または「おまかせ」に設定してください。 ●お湯が減ってきたら上部ヒーターに通電し、150Lのお湯を確保します。（上部わき増し）
多め	多め	約90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	おまかせ	〈冬期〉約80〜90℃ 〈春〜秋〉約75〜90℃	●過去の使用湯量と現在の給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約75℃〜約90℃の範囲でわき上げ温度を決定し、ムダなく効率的にわき上げます。
少なめ	少なめ	約75℃	●最小限のわき上げを行います。使用量が多いとお湯が不足しますので「多め」または「おまかせ」に設定してください。

注1.わき上げ温度は最高90℃ですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。
注2.「少なめ」設定時は、高温さし湯・給湯温度設定等の各機能に制限が発生することがあります。
※上部わき増しの通電開始条件
①タンクのお湯が75L以下に減ったとき（混合層と呼ばれるタンク内の湯と水の境界部の影響で早めに通電を開始します。）
②わき上げ温度より約10℃下がった場合（お湯を全く使用しなくても、放熱によるタンク内温度の低下により通電を開始する場合があります。）

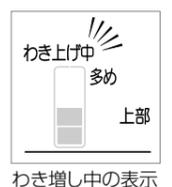
ポイント
- **上部わき増しは、「時間帯別電灯」でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。**
- 工場出荷時は電力契約に関わらず自動的に上部わき増しが設定され[注]、解除するまで継続します。

注.電力契約モードが「08」〜「10」（ドリーム8、ドリーム8エコ）のときは、「上部わき増し」の自動設定は行われません。
深夜電力契約の場合は、約24時間（通電状態によりかわります。）経過すると、自動的に解除されます。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1 わき上げ設定 を押す

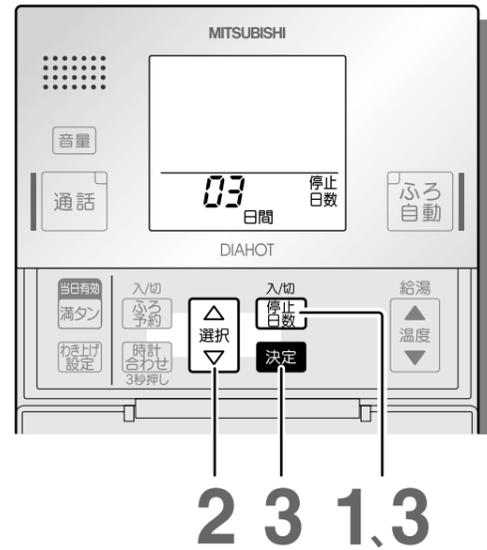
▶押すごとに、わき上げモードが移動します。

- 工場出荷時は、「多め＋上部わき増し」に設定されています。
- [ ]：点灯

▶設定完了です。
（音声ガイダンス：インターホンタイプのみ）

ポイント
- 上部わき増しが設定されているときにわき上げモードの設定を変更すると、お湯の使用量が少なくても昼間にわき上げを行うことがあります。
- 上部わき増し設定時は、お湯が減ると、わき増しを開始します。わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。（右図）

わき増し中の表示

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ温水器のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

● 出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

● 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 入/切 停止日数 を押す

▶メニューに「停止日数」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

00 日間 停止日数

● 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
● [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 選択スイッチを押して停止日数を合わせる

▶ [△] を押すと日数が進みます。
[▽] を押すと日数が戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

● 設定範囲は、「2～15日」、「長期停止」です。

表示	停止日数
長期停止	長期停止
15日間	15日
∫	
02日間	2日
00日間	解除

● 長期停止を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
● 解除するときは、もう一度、停止日数スイッチを押します。

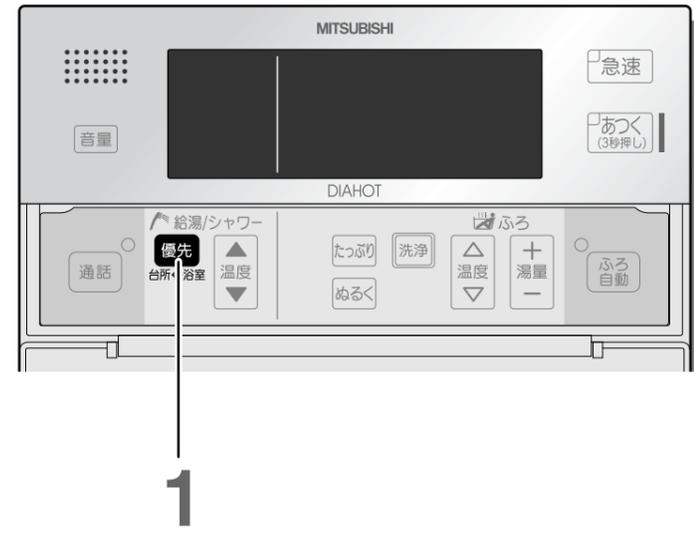
3 決定 または 入/切 停止日数 を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

ポイント
● 停止期間中に、ふろ自動予約、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
● **長期間（1カ月以上）使用しないときは、P.36 の手順に従って温水器の水抜きをしてください。**
● わき上げ停止設定中でも、凍結防止のため、わき上げを行うことがあります。

自動消灯モード

浴室リモコン画面のバックライトを、節電のため消灯させることができます。（自動消灯モード）
自動消灯モード設定時は温水器を使用しないまま約10分間経過後、バックライトが消灯します。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1 優先 を3秒以上押す

▶浴室リモコンのバックライトが消灯し、自動消灯モードになります。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

● 常時点灯モードに戻すときは、優先スイッチを3秒以上押します。

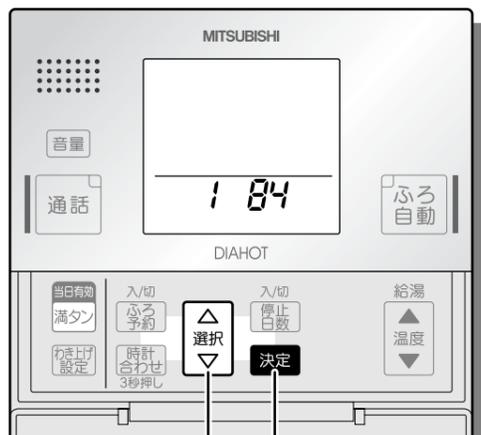
ポイント ● 自動消灯モード中でも、以下の場合はバックライトが点灯します。

● お湯を使用したとき　● ふろ機能使用中　● 音声ガイダンスが流れたとき　● いずれかのスイッチ操作をしたとき
● インターホン動作中

〈スマート機能〈機能番号:1・2〉〉

タンク内温度、わき上げ状態を表示する

現在のタンク内温度を表示させることができます。
また、お湯の量がたりなくなったときや、設定したわき上げ温度までわき上げできなかったときは、わき上げ状態を表示させ、原因を確認することができます。

台所リモコン(インターホンタイプで説明しています。)

1 決定 を3秒以上押す

▶機能番号(1)とタンク内の温度が表示されます。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

例)84℃

●[ ]:点灯、[ ]:点滅

●通常表示(時刻表示)へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

2 選択スイッチ △ を押す

▶機能番号(2)わき上げ状態が表示されます。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

●通常表示(時刻表示)へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

表示	わき上げ状態	お湯がたりなくなった原因
L0	●わき上げは完了しています。(据付工事直後や2時間以上の停電後、最初にわき上げが完了するまでは「L0」が表示されます。)	●昼間時間帯にたくさんのお湯を使用したため、湯量不足になりました。
L1	●給水水温が低かったため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	●わき上げ温度が低いため、使用できる湯量が少なくなり、お湯がたりなくなりました。
L2	●夜間時間帯にお湯を使用したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	
L3	●夜間時間帯にお湯を使用したため、または夜間時間帯に2時間以上停電したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	

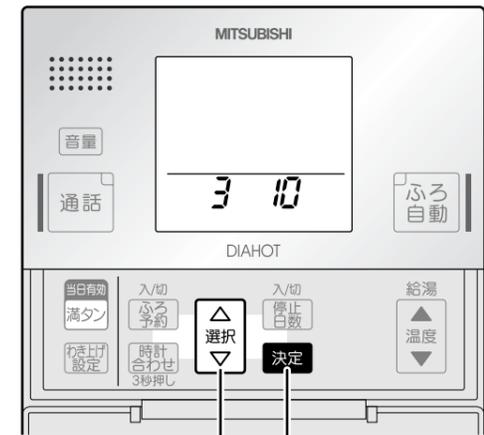
時間帯別電灯でご契約のお客さまは、お湯がたりなくなった場合は、満タンわき増し(P.23)を利用してください。

ポイント
●タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。(通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。)
●わき上げ中やお湯を使用したとき(給湯、高温さし湯など)は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

〈スマート機能〈機能番号:3・4・5〉〉

電力使用量、お湯の使用量を表示する

電力使用量や、昨日の給湯使用量※を表示させることができます。
※お湯の使用量(エネルギー)を43℃の給湯量で表示し、毎朝、夜間時間帯終了後に更新を行います。

台所リモコン(インターホンタイプで説明しています。)

1 決定 を3秒以上押す

▶機能番号(1)とタンク内の温度が表示されます。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

例)84℃

機能番号　タンク内温度

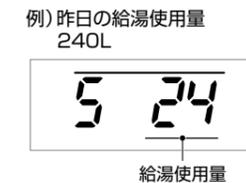
●[ ]:点灯、[ ]:点滅

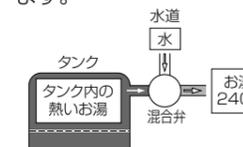
●通常表示(時刻表示)へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

2 選択スイッチ △ を押して機能番号を送る

▶押した回数に応じて、機能番号と電力使用量または給湯使用量が表示されます。
▶△を押すと機能番号が進みます。
▽を押すと機能番号が戻ります。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

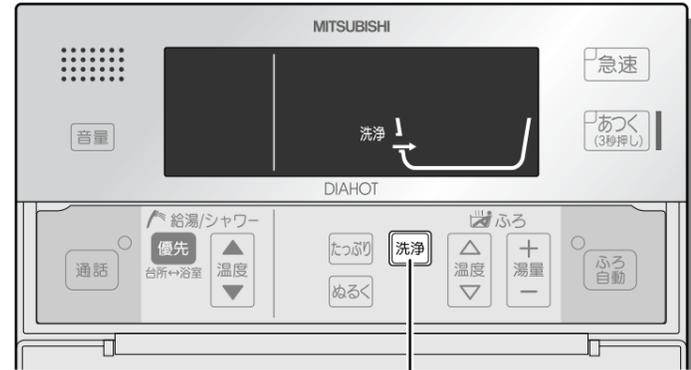
例)電力使用量(昼間時間帯)10kWh

例)電力使用量(夜間時間帯)30kWh

例)昨日の給湯使用量240L

●電力使用量では、表示された数字が使用量(kWh)の目安です。
●お湯の使用量では、表示された数字に10をかけた数値が使用量(L)の目安です。
表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24(240L)」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

●通常表示(時刻表示)へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

洗浄（注水洗浄）

配管にたまった水を押し出すことができます。
おふろの排水時に、毎回行うことをおすすめします。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

1 洗浄 を押す

▶浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。（自動で停止）
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

● [ ]:点灯、[ ]:点滅

サブリモコンをご使用の場合

サブリモコン（オプション）

※インターホン機能、呼び出し機能はありません。

ふたを開けた状態です。

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

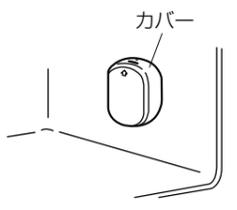
お手入れと点検

日常のお手入れ

❏浴槽アダプターのお手入れ

カバー

浴槽のお湯を排水した後に行います。お手入れは、こまめに行なってください。

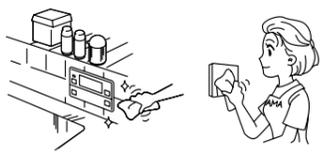
浴槽アダプターのカバーを水洗いする

ポイント ● 洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤を使用してください。
（中性洗剤以外を使用すると故障の原因になります。）

❏時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1カ月に1回程度確認を行なってください。ずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。（P.20）

❏リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ポイント ● ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。
変形や変色の原因になります。

1年に2〜3回程度のお手入れと点検

❏漏電遮断器の動作点検（2カ所）

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

①操作カバーを開け、テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

入
切
テストボタンを押す

⚠警告	漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

ポイント ● 電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❏逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉 逃し弁操作窓を開けて逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水（お湯）が出ることを確認します。水（お湯）が出れば正常です。

〈水漏れ点検〉 わき上げをしていないとき（台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき）、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認します。水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

⚠警告	点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

⚠注意	逃し弁の点検をする タンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

ポイント ● 逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。（点検時は、転倒しないよう注意してください。）
● 動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❏配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店（販売店）にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意	配管を点検をする マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

ポイント ● 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❏タンクのお手入れ

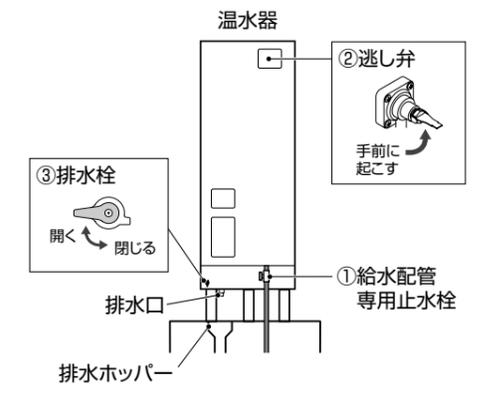
①給水配管専用止水栓を閉じる
②逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
③排水栓を約1〜2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

④1〜2分たったら、排水栓を閉じる
⑤給水配管専用止水栓を開く
⑥排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す

⚠警告	排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

ポイント ● **給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。**
● わき上げ中（台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき）は行わないでください。
● タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管（溝）のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店（販売店）へご連絡ください。（有償）

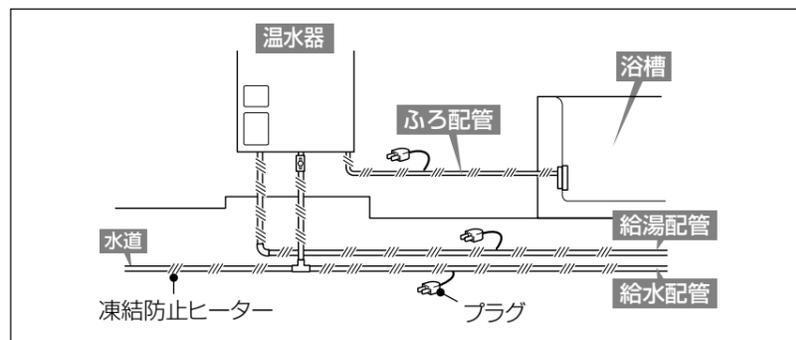
わき上げ中の表示

凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、温水器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

⚠注意

- 凍結防止処置の確認をする
  凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

❑凍結防止ヒーター（推奨品）を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

ポイント ● 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

停電・断水時（水が濁る）など

❑停電したとき

この温水器はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

- 停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

ポイント ● 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
● 湯はり中の停電

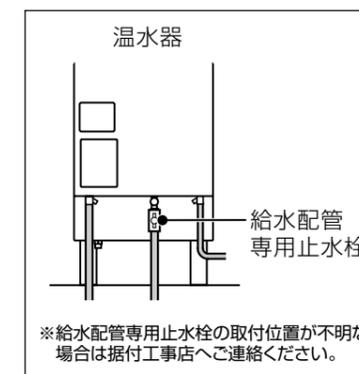
停電時間20分以内	自動的に湯はりを再開します。
停電時間20分を越えたとき	浴槽の湯を全部抜いてから、再度、ふろ自動運転スイッチを押して湯はりを行なってください。（浴槽に湯が残っていると、湯はりを再開したときにお湯があふれる場合があります。）

❑断水したとき（水が濁る）

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。（閉じると温水器からのお湯が止まります。）閉じないでそのまま使用すると、濁った水で温水器のストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。

③工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

※給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は据付工事店へご連絡ください。

❑給湯をとめるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、温水器からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

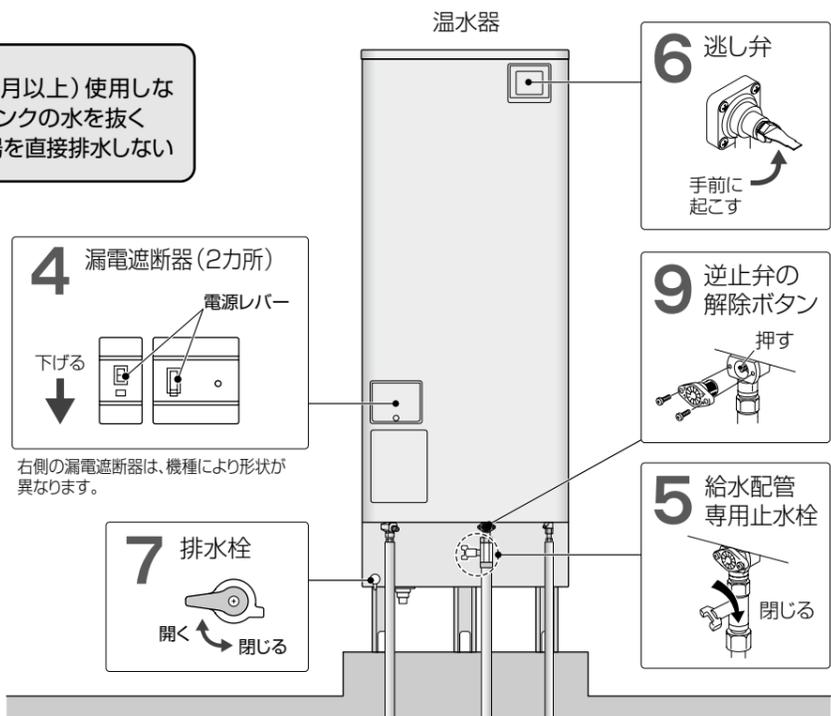
ポイント ● パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

長期間使用しない

長期間（1カ月以上）使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。
また、凍結による不具合防止のため、温水器の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。水抜きを行わないと凍結により温水器が破損することがあります。

⚠警告
排水時は、やけどに注意する

⚠注意
- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない

右側の漏電遮断器は、機種により形状が異なります。

2 脚部カバーの外しかた

（1）つまみねじ（2本）を外す
（2）脚部カバーを手前に引く

8 水抜き栓、ストレーナー、給水配管専用止水栓の取付位置

①	給湯配管用水抜き栓
②	ふろ配管用水抜き栓
③	ストレーナー
④	給水配管専用止水栓

「④給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

水抜き栓の開きかた

①給湯配管用
②ふろ配管用

③ストレーナーの外しかた

コインなどで開けられます。

1 前日から準備できる（タンクのお湯を抜くことがわかっている）場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する
- あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。
- わき上げ停止日数の設定方法: P26

2 温水器に脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外す

3 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す
- 熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。

4 漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを下げ、「切」にする

5 給水配管専用止水栓を閉じる
タンクへの給水を止めます。

6 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
タンクへ空気を取り入れます。

7 排水栓を開く
タンクの水（お湯）を抜きます。
水が抜けるまでに約1時間かかります。
- 排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。

8 タンクの排水が終わったら、水抜きをする（図に示す水抜き栓を開く）
配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。

9 給水配管のストレーナーを外し、逆止弁の解除ボタンを押す
配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。
- 水が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。

10 水抜き完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、排水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける

11 手順2で外した脚部カバーの前面カバーを取り付ける

ポイント
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。（逃し弁のレバーは再び使用するときまで戻さないでください。）
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓、ストレーナーが閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P38）を行なってください。

タンクに水を入れる（準備）

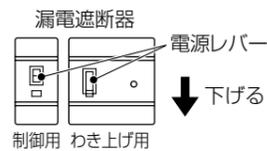
タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で温水器の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、P.36 に従い、タンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。

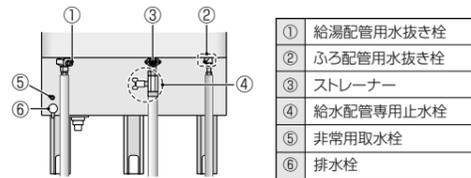
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

※温水器を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

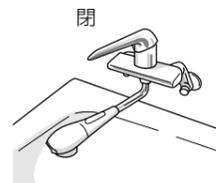
製品形名に「D」の付くタイプは温水器を初期状態にしてから（右記手順）、以下の手順を行なってください。	（1）200V電源ブレーカーを「入」にする （2）左側（制御用）の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする （3）200V電源ブレーカーを「切」にする

1.以下のことを確認する

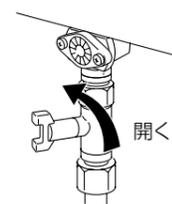
（1）漏電遮断器(2カ所)が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げ、「切」にする

- 右側の漏電遮断器は、機種により形状が異なります。

（2）温水器の排水栓、水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓が閉じていることを確認する（開いている場合はすべて閉じてください。）

①	給湯配管用水抜き栓
②	ふろ配管用水抜き栓
③	ストレーナー
④	給水配管専用止水栓
⑤	非常用取水栓
⑥	排水栓

- 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。（P.36）

（3）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する

2.タンクを満水にする

（1）逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

（2）給水配管専用止水栓を開き、タンクへ給水する

（3）満水になったら、逃し弁のレバーを戻す

戻す

- タンクが満水になると排水口から水がでます。（満水までの目安:約30分）

- タンクを満水にしてから電源を入れてください。
- タンクが満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

「F07」エラーはタンクが満水でないときに表示されます。

タンクが満水でないと電源を入れてもリモコンに「F07」表示が出て、わき上げを行いません。必ずタンクを満水にしてからご使用ください。（逃し弁のレバーを手前に起こして排水口から水が出ることを確認してから、逃し弁のレバーを戻してください。）
また、タンクが満水になるまでリモコンに「F07」エラーが表示されますが、故障ではありません。
満水になると「F07」エラーは自動解除されます。

3.給湯配管の空気を抜く

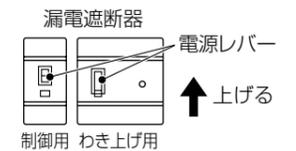
（1）蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1カ所）

開く

- 空気が抜け、蛇口から水が出たら閉じてください。

4.電源を入れる

（1）200V電源ブレーカーを「入」にする

（2）漏電遮断器の電源レバー（2カ所）を上げ、「入」にする

5.時刻を確認する（P.20）

その他の設定（給湯温度、湯はり温度、湯はり湯量など）も工場出荷時状態に戻っていることがありますので確認してください。

ポイント ● 初めてご使用の場合は電力モードを確認し、合っていない場合は、ご契約の電力制度に合わせてください。

電力契約モードの確認手順

1 台所リモコンの 決定 を3秒以上押す

2 選択スイッチ［△］を5回押す

EP01
電力契約モード

〈合っていない場合〉

3 給湯温度スイッチ［▲］［▼］を押してモードを選ぶ（設定完了）

※時刻表示へ戻すときは、決定スイッチを押してください。

■電力契約モードの内容（平成23年3月現在）

表示	適用電力制度
EP 01	● 東京電力:電化上手 ● 関西電力:はぴeタイム、はぴeプラン ● 沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	● 中部電力:Eライフプラン
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム
EP 04	● 北陸電力:エルフナイト10プラス ● 九州電力:電化deナイト
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8 ● 東京電力:おトクなナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8 ● 中部電力:タイムプラン ● 関西電力:時間帯別電灯 ● 四国電力:電化Deナイト、得トクナイト ● 九州電力:時間帯別電灯 ● 沖縄電力:時間帯別電灯
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10 やりくりナイトS ● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10 ● 九州電力:よかナイト10
EP 07	● 中国電力:エコノミーナイト
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯22時～6時）
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯23時～7時）
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯24時～8時）、eタイム3

6.夜間時間帯（地域によって異なります。）にお湯をわき上げます。

わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。
時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。

7.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

⚠警告

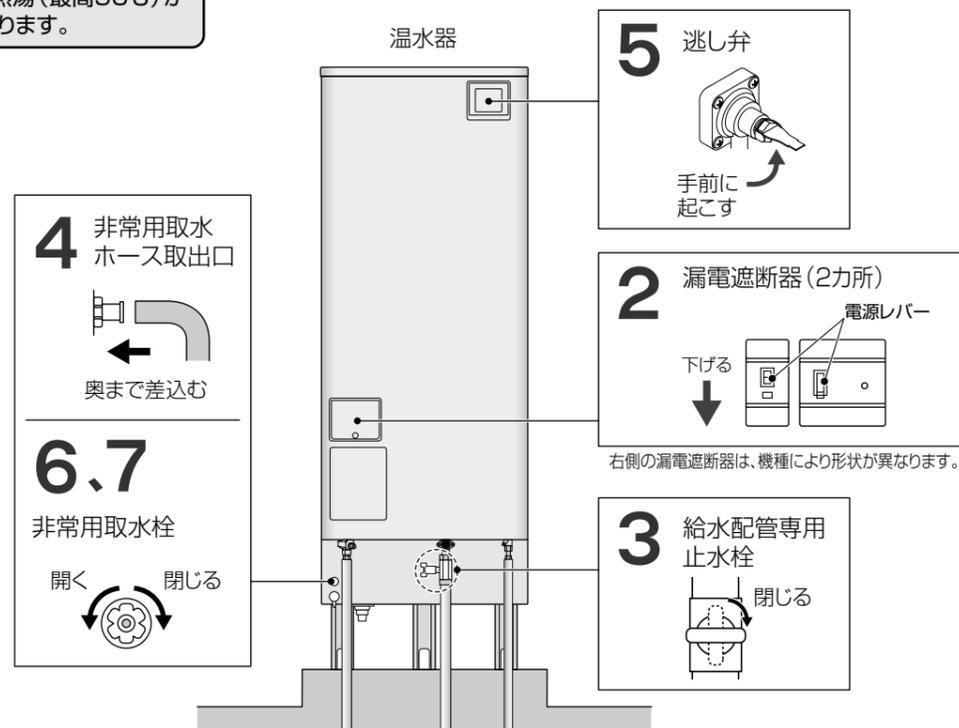
使いはじめは、やけどに注意する

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

災害時にタンクの水を取り出す

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは取扱説明書に同梱されています。

⚠警告
取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯（最高90℃）が出る場合があります。

1 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外す
（外しかた：P36）

2 漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを下げ、「切」にする
電気の供給を停止します。

3 給水配管専用止水栓を閉じる
タンクへの給水を止めます。

4 非常用取水ホースを取出口に取り付ける

5 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
タンクへ空気を取り入れます。

6 非常用取水栓を開く
タンクの水（お湯）を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

7 非常用取水栓を閉じる

ポイント ● 再び使用するときは、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P38）を行なってください。

定期点検（有料）

温水器を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

❏定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※などの点検および消耗部品の交換
清　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、ストレーナーの掃除

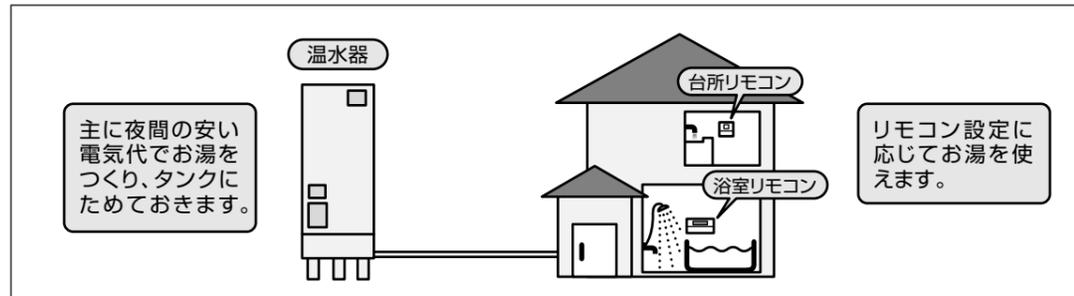
※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。

❏消耗部品

下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

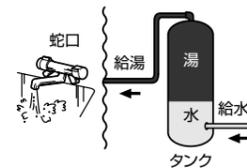
- 減圧弁
- 逃し弁
- 混合弁
- パッキン類
- センサー類
- 電磁弁
- ヒーター

温水器の役割など

■温水器の役割

■温水器の基本原理

①自動給水・押上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

蛇口 給湯 湯 水 給水 タンク

②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。

例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作です。

水 約3% 湯

③主に夜間に運転を行い、わき上げます

割安な夜間電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。

④タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

■「高圧力型」とは

■「高圧力型」は、「標準圧力型」より勢いよくお湯が出ます。（通常使用圧力…標準圧力型:85kPa→高圧力型:170kPa）
■1階に据付けて2階でも使えるようになりました。（3階でも手洗い程度であれば使用できます。）
■「高圧力型」を事務所、店舗などでご使用する場合は、労働安全衛生法により書類の提出等が必要です。高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に関係する法令として以下のものがあります。

- ●労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- ●労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）
- ●労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）
- ●ボイラー及び圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）

■高温水遮断形浴槽アダプターについて

高温水遮断形浴槽アダプターとは、浴槽にお湯が入っていないときなど、急な高温出湯でのやけどを防止するために、高温を検知すると閉じる弁を設けて、自動的に高温出湯を停止させる機能を持った浴槽アダプターです。

● 高温水遮断の動作

浴槽にお湯（水）がない状態で80℃設定の「高温さし湯」をすると、リモコンに「U10」が表示されて、高温さし湯が停止します。また、浴槽の湯温が48℃以上で高温さし湯を行なった場合も、リモコンに「U10」が表示されて、高温さし湯が停止することがあります。これは高温水遮断形浴槽アダプターのはたらきによるものです。

「U10」が表示された後も温水器から浴槽までの配管には高温さし湯の熱いお湯が残っているため、すぐに湯はり等で浴槽にお湯を入れようとしても、再び「U10」が出ることがあります。配管の湯が冷めるまで待って（20分～30分程度、季節によって異なります。）からやり直してください。早く復帰させたいときは、下記をご覧ください。

● 「U10」表示のときに、早く復帰させたいときは…

高温水遮断形浴槽アダプターにシャワーなどで冷たい水をかけながらぬるくスイッチを押してください。再び「U10」が表示されても、「U10」表示が出なくなるまで数回繰り返してください。

■残湯量の見かた

タンク内の残湯量（45℃以上の お湯の量）をリモコンに表示します。
お湯が少なくなったときは、各リモコンに「 残湯なし 」が表示されますので、満タンわき増しを使用してください。

残湯量表示（台所リモコンで説明しています。）					残湯なし（点滅）	残湯なし（点灯）	残湯なし（点灯）	
お湯の量		ほぼ満タン	200L以上	75L以上 200L未満	75L未満	残湯なし（湯切れ）	75L未満	75L以上 200L未満
お湯の増減								
ふろ機能の制約	ふろ自動	使用できます(※)				使用できません		使用できます（※）
	高温さし湯	使用できます(※)				使用できません		使用できます（※）
	たっぷり	使用できます(※)				使用できません		使用できます（※）
	ぬるく	使用できます						

※ふろ機能の操作は行えますが、タンク内の湯温によっては動作が途中で停止するなど、十分な性能が発揮できない場合があります。

ポイント
- ● 残湯量表示の「 ■ 」は45℃以上のお湯を表しています。
- ● 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- ● 高温さし湯はタンク内のお湯の熱を利用しています。そのため使い方によってはお湯が不足したり、高温さし湯ができなく（「残湯なし」点灯）なることがあります。
- ● 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示がかわります。

残湯量表示	残湯なし（点滅）	残湯なし（点滅）			
お湯の量	残湯なし	75L未満	75L以上 200L未満	200L以上	ほぼ満タン

■電力制度について

この電気温水器に適用できる電力制度は、**時間帯別電灯**と**深夜電力**とがあります。
ご家庭のライフスタイルに合わせてお選びください。

契約している電力制度と使える機能

機能 / 電力制度	わき上げ 夜わき上げて昼使う	わき増し お湯が減ったら自動的に追加でわかす（昼もわかせます。）	契約の概要
時間帯別電灯	○	○	家庭の電気製品すべてに対して 夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金、昼間時間帯（7:00～23:00）は通常の10%～30%程度の割増料金※が適用されます。 ※割増の程度は、電力会社により異なります。
深夜電力	○	×	電気温水器のみ、夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金が適用されます。（昼間時間帯は通電されません。）電気温水器以外の電気製品は、通常の料金が適用されます。

注1.昼間時間帯、夜間時間帯は電力会社などにより異なります。　注2.電力制度については、電力会社または据付工事店（販売店）へお問合わせください。

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

仕様

形名		SRT-J37C3	SRT-J46C3	SRT-J55C3
圧力タイプ		高圧力型		
適用電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）		
設置場所（推奨）		屋外		
タンク容量		0.37m³（370L）	0.46m³（460L）	0.55m³（550L）
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200V		
	深夜電力契約時	深夜電力単相200V＋昼間電力単相200V		
定格消費電力	最大消費電力	4.5kW	5.5kW	6.5kW
	ヒーター 上部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	ヒーター 下部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	凍結防止ヒーター	48W		
	制御用	20W		
わき上げ温度		約75℃～約90℃		
外形寸法（高さ×幅×奥行き）		1830 × 630 × 760mm	2170 × 630 × 760mm	2100 × 700 × 825mm
製品質量（満水時）		73kg（443kg）	81kg（541kg）	89kg（639kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）		
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁		

形名		SRT-J37CD3	SRT-J46CD3	SRT-J46CDM3	SRT-J55CD3
圧力タイプ		高圧力型			
適用電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）			
設置場所		屋内・屋外			
タンク容量		0.37m³（370L）	0.46m³（460L）		0.55m³（550L）
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200V			
	深夜電力契約時	深夜電力単相200V＋昼間電力単相200V			
定格消費電力	最大消費電力	4.5kW	5.5kW		6.5kW
	ヒーター 上部	4.4kW	5.4kW		6.4kW
	ヒーター 下部	4.4kW	5.4kW		6.4kW
	凍結防止ヒーター	48W			
	制御用	20W			
わき上げ温度		約75℃～約90℃			
外形寸法（高さ×幅×奥行き）		1830×630×760mm	2170×630×760mm	1800×700×825mm	2100×700×825mm
製品質量（満水時）		75kg（445kg）	83kg（543kg）	79kg（539kg）	91kg（641kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）			
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁			

製品形名に「D」の付くタイプには、万一、温水器内で水漏れが起こった時、温水器への給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能があります。（タンク内に貯まっているお湯（水）までストップするものではありません。）

形名		SRT-J37CH3	SRT-J46CH3
圧力タイプ		標準圧力型	
適用電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）	
設置場所（推奨）		屋外	
タンク容量		0.37m³（370L）	0.46m³（460L）
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200V	
	深夜電力契約時	深夜電力単相200V＋昼間電力単相200V	
定格消費電力	最大消費電力	4.5kW	5.5kW
	ヒーター 上部	4.4kW	5.4kW
	ヒーター 下部	4.4kW	5.4kW
	凍結防止ヒーター	48W	
	制御用	20W	
わき上げ温度		約75℃～約90℃	
外形寸法（高さ×幅×奥行き）		1830×630×760mm	2170×630×760mm
製品質量（満水時）		73kg（443kg）	81kg（0541kg）
水側最高使用圧力		99kPa（逃し弁設定値）	
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁	

故障かな？と思ったら

	症状	処置・確認事項
お湯	お湯が出ない 出が悪い	● 給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ● 断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ● 配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。 ● 蛇口の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。
	お湯が足りない	● お湯をたくさん使用した場合は、満タンわき増しをご利用ください。（P.23） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。 ● わき上げモードの設定が「少なめ」の場合は、「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。（P.24） ● 台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から水（お湯）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P.32）
	お湯がわかない	● 200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器（2カ所）の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ● 停止日数設定中は、停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。（停止日数解除：P.26、満タンわき増し：P.23） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
	お湯が白く 濁って見える	● 水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。
	お湯から油がでる、お湯が臭い	● 初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順（P.36 P.38）によりタンク内の湯を入れかえてください。
	タンク内の温度が設定した温度より低い	● タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。
	蛇口のお湯が設定温度より低い	● 配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。
	浴槽や洗面器等に青い線がつく	● 湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
	浴槽の水が青く見える	● 光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。

症状		処置・確認事項
温水器	排水口からお湯（水）が出ている	●わき上げ中（リモコンに「わき上げ中」が表示されている場合）は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。 ●リモコンに「わき上げ中」の表示がないときにお湯（水）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P32）
温水器	夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行わない	●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。（ピークシフト機能）
温水器	わき上げ停止設定中でもわき上げを行う	●外気温度が低下すると、凍結防止のため、わき上げを行うことがあります。
リモコン表示部	点灯しない（電源が入らない）	●漏電遮断器（2カ所）の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
リモコン表示部	リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する	●時刻を合わせ直してください。（P20）
操作	設定したわき上げ温度までわき上がらない	●以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②わき上げモードの設定をかえた場合 （「少なめ」→「多め」または「おまかせ」→「多め」） ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下　●残湯量…20L未満
操作	わき増しの設定ができない	●電力制度の契約が「深夜電力」契約のお客さまは、わき増しを利用できません。電力制度の契約については電力会社へご相談ください。
操作	上部わき増しが勝手に入る	●タンク内の温度は放熱によって少しずつ低下します。上部わき増しが設定されている場合、タンク内の温度がわき上げ設定温度よりも約10℃下がると、お湯を使用していなくても上部わき増しが開始されます。 注.上部わき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
操作	満タンスイッチを押してもわき上げを開始しない	●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定するとタンク内のお湯が約100L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。 ●夜間時間帯は、わき増しを行いません。 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
操作	お湯を使っていないのに残湯量表示が消える	●自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。

症状		処置・確認事項
操作	湯はりができない	●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は、満タンわき増しを行なってタンク内をわき上げてから、湯はりをしてください。（P23） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
操作	「湯はり温度」が設定した温度より低い	●湯はりの「温度」は目安温度です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。次回から湯はりの温度を上げてください。
操作	「湯はり量」が設定した量より多い（あふれる）	●浴槽に残り湯がある状態で湯はりを行うと、湯はり完了時に、残り湯分だけお湯が増えます。残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。 ●浴槽の容量以上に設定されていないか確認してください。（浴槽の容量に対して7～8割が適正量です。） ●設定湯量を湯はりしますので、湯はり中に蛇口やシャワーからお湯をたすと、あふれることがあります。
操作	給湯温度を変更できない	●浴室リモコンの優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（P14）
操作	高温さし湯ができない	●湯はり中は使用できません。 ●浴槽のお湯が浴槽アダプターより少ない場合は、使用できません。 ●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は使用できません。わき増しを行なってタンク内をわき上げてから使用してください。 ●あつくスイッチを3秒以上押し続けてください。
操作	高温さし湯を中止しても、すぐに止まらない	●高温さし湯を途中で停止した場合、すぐには止まりません。配管内に残った熱いお湯を押し出すため、約8Lのお湯が出ます。
操作	音声ガイダンスが聞こえない	●「音声を切ります」以外の設定にしてください。 ●ベーシックタイプには音声ガイダンス機能はありません。
操作	通話できない	●通話スイッチを押してから約1分間以上たっている場合は、もう一度、通話スイッチを押してください。 ●音量設定が「最小」になっていて聞こえにくい場合は、「標準」または「最大」にしてください。 ●リモコンに向かって話していない、またはリモコンに近づきすぎている場合は、適切な位置で通話してください。 ●通話中にスピーカーから「ピー」という音が出る場合は、通話音量を下げてください。

症状		処置・確認事項
操作	突然、リモコンのブザーが鳴る	● 給湯温度を60℃に変更したときは、リモコンの音声ガイダンスやブザーが鳴ります。
	台所リモコンの表示が消えている	● 約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）
	浴室リモコンの表示が消えている、時々点灯する	● 「自動消灯モード」が設定されていると、温水器を使用しないまま約10分間たつと表示が消灯します。お湯を使ったり、いずれかのスイッチを押すと再び表示しますが、さらに約10分間使用しないままでいると表示が消灯します。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口（P51）」へご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口（P51）」へご相談ください。

表示	原因・処置
	● 温水器の給水口にお湯が供給されています。温水器の給水口に水を供給してください。太陽熱温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 ● 給水配管専用止水栓（取付位置 P36）が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。 ● 断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	● わき上げ用の電力が供給されていません。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを「入」にしてください。「入」にしても、2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」（P51）へご連絡ください。
	● 浴槽にお湯（水）がない状態で高温さし湯を行うと表示されます。このとき、高温さし湯を停止するため、高温水遮断形浴槽アダプターから音が出ることがあります。高温さし湯は、浴槽にお湯（水）がある状態で行なってください。ふろ配管内の湯が冷めるまで20分〜30分（季節によって異なります。）待ってから浴槽に湯はりをしてください。 早く復帰させたいときは P42 をご覧ください。
	● タンクが満水でないとき「F07」が表示されます。 「F07」表示が消えるまで湯側の蛇口を開くか逃し弁のレバーを手前に起こして、タンクを満水（蛇口や排水口からお湯または水が出る）にしてください。
	● タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。 ● 給水配管専用止水栓（取付位置 P36）が閉じている場合は、開いてください。 ● 断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ● 配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
H03	● 温水器とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店（販売店）へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
その他の表示（E05）など	● 温水器の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓（取付位置 P36）を閉じてから、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」（P51）へご連絡ください。

アフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない当社指定部品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

2年間	本体（逃し弁、減圧弁）、リモコン、リモコンケーブル、パッキン
3年間	ヒーター
5年間	タンク不良による水漏れ

※保証期間を延長できる「延長保証制度」があります。（詳細は下記参照）

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（P.45）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容

- 品名：三菱 電気温水器
- 形名：（例）SRT-J37C3（エスアールテー ジェー シー）
- お買上げ日：年月日
- 故障の状況：できるだけ具体的に
- お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

※形名は温水器の前面カバーに表示されています。（P.7）

●据付（接続・調整・取扱説明等）を依頼されると有料となることがあります。

❑延長保証制度

延長保証期間が8年間と5年間の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

延長保証期間8年間の場合

商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

（例）ご購入日／1年後／2年後／3年後／4年後／5年後／6年後／7年後／8年後～
申込有効期間 3カ月以内 → メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

延長保証期間5年間の場合

商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

ご購入日／1年後／2年後／3年後／4年後／5年後～
メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証は終了後は通常の有料修理に移行いたします。●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。 保証する修理費用 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉

三菱電気温水器
8年間保証料 9,750円（税抜価格 9,286円）
5年間保証料 4,935円（税抜価格 4,700円）

2008年10月現在（保証料は変更する場合がありますのでご注意ください）

資料のご請求はこちらへ **三菱電機延長保証申込受付センター**
0120-867-789
受付時間：平日午前9:00～午後5:30
（年末年始を除く）

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法 受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーコール 0120-139-365（無料）（いつもサンキュー 365日）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX（03）3413-4049（有料）	（03）3414-9655（有料）

■ご相談対応 平日 9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日 9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼 受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX（03）3424-1115（有料）	（03）3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX（06）6454-3900（有料）	（06）6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

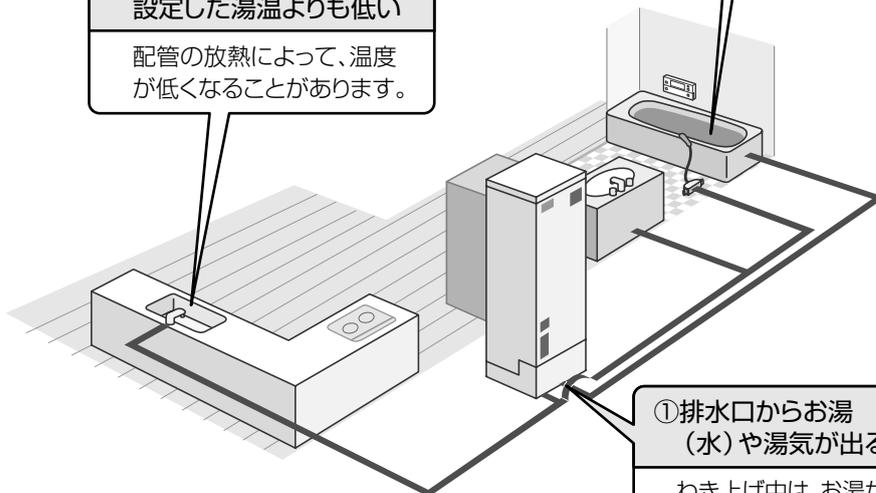
K10A

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

困ったときは

よくあるご質問

③浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンと湯あかが反応してできた銅石けんによって浴槽などが青くなることがあります。浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

製品形名〈製造番号〉	SRT-　　　　〈　　　　〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
台所リモコン形名	RMC-	
浴室リモコン形名	RMC-	
お買上げ日	年　月　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

★長年ご使用の温水器の点検を!　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

T964Z107H03〈2011-03〉